



大正5年、翁の喜寿(77歳)を祝つて東京・世田谷に建築された。平成11年に保存のため深谷へ移築

埼玉の
知りを
育てる

「あつたらしいなー」こんな未来」。埼玉新聞社は今年度、県内の小中学生を対象に「キッズビジネスアイデアコンテスト」に取り組む。進学塾や英会話教室などを運営し、今年で創立50周年を迎えたサイエングループが特別協賛する。コンテストは、発想力だけではなく、プレゼンテーション能力や「コミュニケーション能力を育てるのが狙い。サイエイホールディングスの福島隆代表取締役は、「小中学生の発想には、大人になるとふたをしてしまいがちな大切な感性がある」と、この事業に期待を寄せる。事業開始を前に、同氏と埼玉新聞社の関根正昌代表取締役社長が語り合った。



サイエイホールディングス代表取締役

埼玉新聞社代表取締役社長

福島 隆氏 × 関根正昌

オンラインは「でも対面を大切に」

関根 コロナ禍で、弊社でもオンライン会議が日常的になっています。また、オンラインでの取材も増えていますが、やはり対面を大切にしたい。その思いは同じですね。

聞けば、英会話はオンラインレッスンも手掛けているとか。語学力には言葉を巧みに使いこなすだけでなく、人との交際術や交渉術などといった能力も求められると思います。考えを聞かせてください。

福島 日本語であっても、高校生が使う言葉は、実社会では通用しにくい、いわば「若者語」です。尊敬語や謙譲語、丁寧語の使い分けに不慣れだからです。

一方で、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などは、人と触れ合うことで養われるものです。しかも、幼いうちの経験が大切です。英語幼稚園などの事業は、知性と社会性を育てます。

関根 渋沢栄一翁の生涯を描くNHK大河ドラマ「青天を衝け」が話題です。渋沢翁は埼玉に生まれ、世界に学び、近代日本の夜明けを支えました。

お話を聞いて、御社が実学志向の教育事業で育成する人材像

日常。切にしたい — 関根

や国を愛し、その土地をより良くしようという気概を感じます。私もその思いを強く持っているつもりです。

50周年の節目に、私たちの事業を「知産知翔」と評価していただけて、とても光榮です。勉強の本質を見据える、という考え方を、これからも貫き通していきたいと思います。

例えばサイエイスクールの講師はほとんどが正社員です。事業の規模拡大は求めつつも、少數精銳に引かれます。これからも深化を求めたいですね。

桃

挑戦する姿



SAIEI
HOLDINGS

サイエイホールディングス株式会社

教育の幅広い要望に応え、提供する企業でありたい

私たちちは、子どもたちの未来づくりに様々な形で大きく寄与するとともに、
企業として社会貢献活動・環境問題に積極的に取り組み、
多くの教育文化・社会の発展に貢献して参ります。



サイエイグループは、「青淵の世明けプロジェクト」を応援しています。

人は何のために勉強するのでしょうか — 福島

「いや、苦手な科目と頑張って向き合う努力や忍耐などを養うためだと思っています。」

「私たち塾という事業を通して、つらくとも物事から逃げない解決しよう」と向き合つてい

期
100

1/23 スタート!!

6/30までにお手 日間無料 イが初めての方限定 別途テ と与野 交説明会



福島 隆 氏 サイエイホールディングス代表取締役
【サイエイグループ】1971年創立。埼玉、東京、千葉、大阪を拠点に進学塾、英会話教室、英語幼稚園などの教育事業を展開する。幼児から大人まで、一人ひとりの学びと成長を支援し、社会に貢献できる人材の育成を目標としている。

